

1. 適用対象事業所の概要

当社は、下記の国内4事業所及び蘇州惠普聯電子有限公司を環境管理の管理組織体と称して、5管理組織体毎に、事業活動、製品及びサービス領域における環境マネジメントシステムの確立、運用管理、監視、改善活動を継続的に推進し、環境パフォーマンスの向上に努めています。

また、当該年度に外部審査機関(BSI-GJ)によるISO14001のサーベイランス審査が行われました。審査は年1回、規定に沿って実施され、「法規制・その他要求事項チェックシート」で問題の無いことが確認され、認証が継続されることになりました。

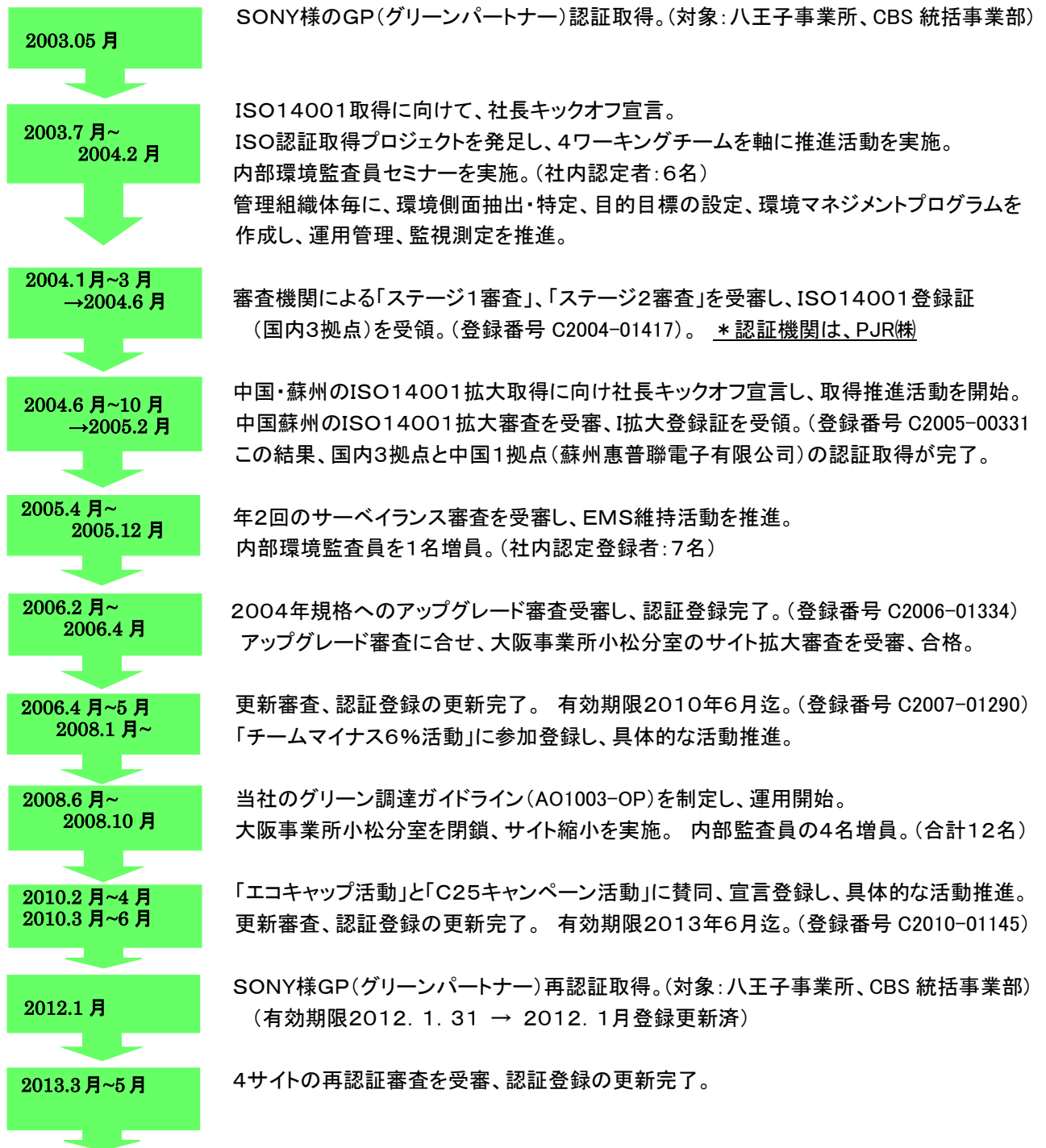
[適用事業所]

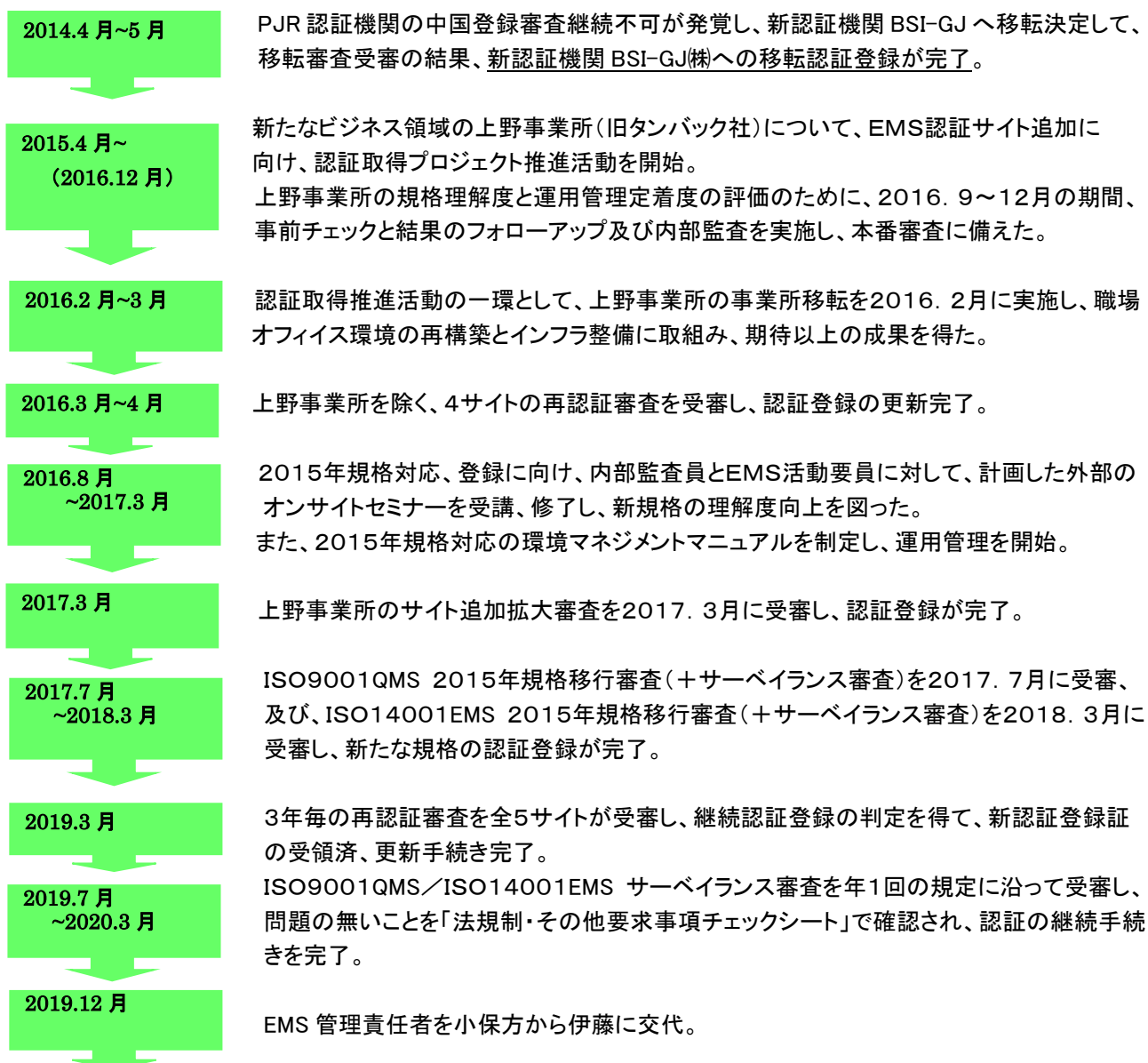
- a. 本社・八王子事業所(HHdiv) b. 入間事業所(IPlant) c. 大阪事業所(Odiv) d. 上野事業所(SSdiv)
- e. 蘇州惠普聯電子有限公司[中国江蘇省](SZE):

(2019年度は、新型コロナウイルス(COVID-19)の影響にて、監査省略の上、認証の継続が確認されました。)

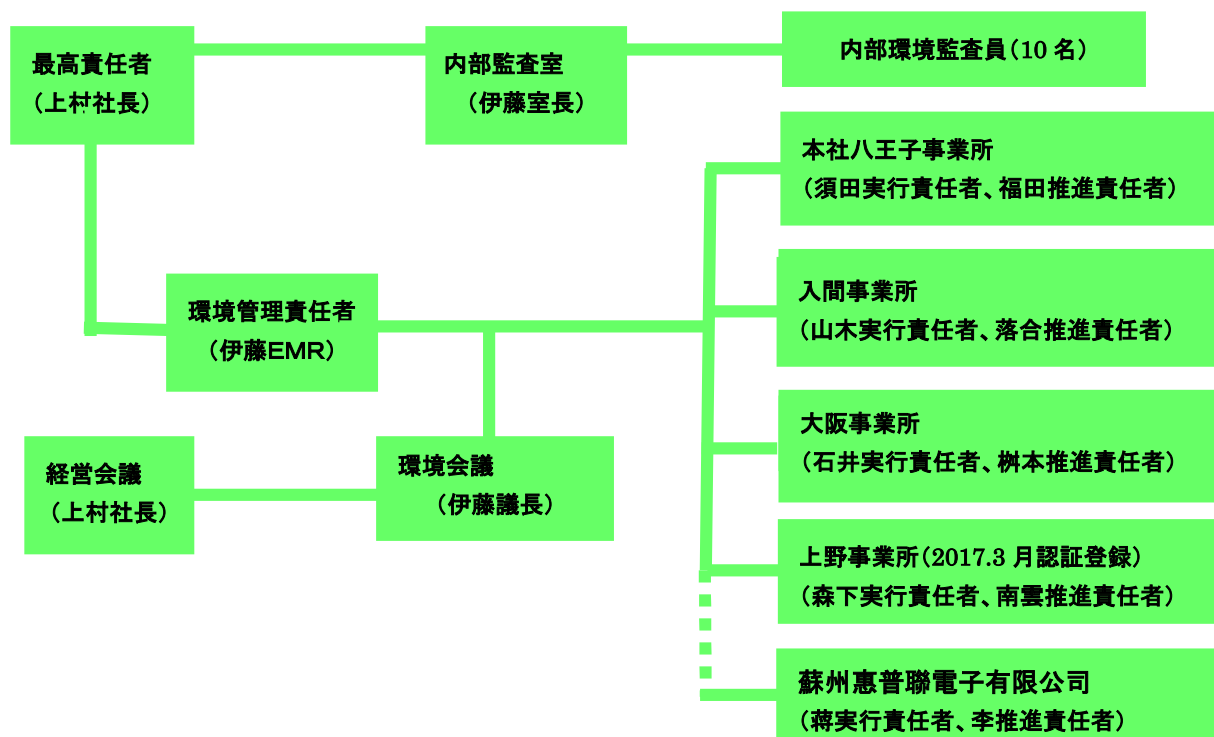
2. 環境保全への取組み

1) 環境活動の歩み





2) 環境管理組織(2019年度)



3) 環境方針(2019 年度)

環境方針

環境理念

私達は、地球環境保全が21世紀における人類の最も重要な課題の一つであることを認識し、地球環境保全と将来の世代の夢が守られる持続可能な社会の義務にむけ、積極的に貢献を行っていきます。

環境方針

1. 産業用コンピュータシステムに関する事業活動を通じ、省資源、省エネルギー、廃棄物の減量、有機溶剤消費の削減を行い、環境負荷の軽減に努めます。
2. 環境配慮設計及びグリーン調達に取り組み、有害物質の使用を避け、RoHS適合製品の提供を推進（鉛フリー等）し、有益な環境側面の創出に努めます。
3. 継続的な環境改善と汚染の予防に努めます。
4. 法規制、顧客要求・その他要求事項を順守し、環境保全を推進します。
5. 環境目的、目標を設定、運用管理、監視・測定し、必要に応じて見直しを実施します。
環境パフォーマンスの向上のため、定期的なレビューを行い、環境マネジメントシステムの継続的改善活動を推進します。
6. この方針は文書化し、実行維持し、全従業員と当社のために働く人に周知徹底します。
また、社外からの人々の要求に対して、開示します。

制定 2019 年 04 月 01 日

エブレン株式会社 代表取締役社長

上村 正人

4) 方針、目的目標及び活動実績の概要

2019年度のISO14001EMS活動は、2015年規格のマネジメントシステムの適合、運用定着活動と有益な環境側面の創出を含めた環境パフォーマンス向上活動へ継続的に取り組みました。

特に、2015年要求規格ポイントの「組織の状況、リーダーシップ、リスク及び機会への取り組み」について、意識的に取り組むとともに、推進定着に努めております。

推進のポイントは従来同様、継続的に、1つは法規制と同意するその他要求事項の順守活動、2つ目はお客様へ環境に配慮した製品の提供及び製品の規制物質などの有害含有物を削除、削減を行い、RoHS指令等に適合した製品創出活動、3つ目は快適な職場環境の改善実現活動及び環境の負荷低減、減量、維持管理活動です。

本年度も環境省のCOOL CHOICE活動に登録し、「スーパークールビズ活動」と「ウォームビズ活動」を継続的に推進し、電力使用量の削減及びCO2の削減に努め、今期も電気料金抑制に取り組み、成果(2007年比)を得ました。ただ、電気料金抑制活動は、売上高増加に伴う工場稼働率アップ、単金アップ等により前年比増加となってしまいましたが、売上高増加率の以下に抑制されており、管理された状態の運用が継続されております。

また、今期も滞留資産のトレンド管理、分析を行い発生抑制の継続的改善に取り組み、増加抑制活動の具体的な成果が得られました。併せて、継続的に廃棄物の処理費用発生から有価物としての売却化に取り組み、プラスの成果を得ております。

引続き、著しい環境側面、リスクを踏まえ有益な環境側面の創出活動を軸にした環境管理への取り組みを経営方針の1つとし、事業活動との融合を図り、環境管理費用の低減と環境保全活動を推進しております。

5) 2019 年度の実績評価

①改善推進テーマ

推進テーマ	管理組織体	目標値	実績値	判定	達成率
有益な工場環境の実現 (モデル工場)	HHdiv	8.0 件の改善実行[5S 維持管理]	9 件改善完了	○	113%
	HHdiv	4.0 件の改善実行[安全環境配慮製造ライン]	5 件改善完了	○	125%
	HHdiv	24.0 件の改善実行[変種変量製造ライン]	30 件改善完了	○	125%
	Iplant	8.0 件の改善実行[機能的な安全快適な工場環境実現]	9 件改善完了	○	113%
	Iplant	24 件の改善実行[社内資産で効率的な作業環境実現]	24 件改善完了	○	100%
	Odiv	12 件の改善実行[3T 実施と継続]	12 件改善完了	○	100%
	Odiv	12 件の改善実行[5S 実施と継続]	12 件改善完了	○	100%
	SSdiv	12 件の改善実行[安全快適効率的なオフィス環境改善]	12 件改善完了	○	100%
RoHS 対応製品の供給	SZE	部品 24 件以上環境負荷物質の含有物調査]	26 件完了	○	108%
不良資産の発生抑制	SSdiv	12 件の改善実行[資材調達方式改善]	12 件改善完了	○	100%
仕損じ撲滅活動	HHdiv	900,000 円以下	2,116,020 円	×	235%
	Iplant	138,000 円以下	201,949 円	×	146%
	Odiv	396,000 円以下	1,019,228 円	×	257%
	SSdiv	316,000 円以下	420,631 円	×	133%
	SZE	24,000 円以下	80,392 円	×	335%

②継続監視テーマ

推進テーマ	管理組織体	監視基準値(125%)	前年実績値	実績値	前年対比率	判定
資源枯渇抑制 (電力使用量)	HHdiv	199,264kWh 以下	159,411kWh	158,252kWh	99.3%	○
	Iplant	96,024kWh 以下	76,819kWh	74,619kWh	97.1%	○
	Odiv	133,654kWh 以下	106,923kWh	108,171kWh	101.2%	△
	SSdiv	50,483kWh 以下	40,386kWh	40,098kWh	99.3%	○
	SZE	21,731kWh 以下	17,385kWh	12,759kw	73.4%	○
資源枯渇抑制 (最大需要電力)	HHdiv	82kw	70kw	77kw	93.9%	○
	Iplant	54kw	55kw	54kw	100.0%	○
	Odiv	89kw	93kw	89kw	100.0%	○
	SSdiv	80kw	84kw	76kw	95.0%	○
RoHS 対応製品の供給 (鉛フリー化推進)	HHdiv	35.31kg 以下	28.25kg	29.16kg	103.2%	△
	Odiv	0.13kg 以下	0kg	22.00kg	-	×
資源枯渇抑制 (ガソリン)	HHdiv	12.95km/l 以上	16.19km/l	16.35km/l	101.0%	○
	Iplant	6.75km/l 以上	8.44km/l	9.49km/l	112.4%	○
	Iplant	5.38km/l 以上	6.73km/l	7.01km/l	104.2%	○
	Odiv	14.82km/l 以上	18.52km/l	21.79km/l	117.7%	○
	Odiv	8.74km/l 以上	10.93km/l	9.77km/l	89.4%	△
資源枯渇抑制 (用紙)	HHdiv	341,875 枚以下	273,500 枚	270,000 枚	98.7%	○
	SSdiv	15,625 枚以下	12,500 枚	16,500 枚	132.0%	×
	SZE	29,375 枚以下	23,500 枚	23,500 枚	100.0%	○
資源枯渇抑制 (水道)	HHdiv	438 m ³ 以下	350 m ³	356 m ³	101.7%	△
	Iplant	90 m ³ 以下	72 m ³	85 m ³	118.1%	△
	Odiv	318 m ³ 以下	254 m ³	267 m ³	105.1%	△
	SSdiv	193 m ³ 以下	154 m ³	136 m ³	88.3%	○
資源枯渇抑制	HHdiv(一般)	700.0kg 以下	560.0kg	590.0kg	105.4%	△

(廃棄物、有価物)	IPlant(一般)	3,540.0kg 以下	3,540.0kg	3,898.0kg	110.1%	△
	Odiv(一般)	3,687.5kg 以下	2,950.0kg	870.0kg	29.5%	○
	SSdiv(一般)	367.8kg 以下	294.2kg	216.6kg	73.6%	○
	HHdiv(産業)	512.5kg 以下	410.0kg	1,140.0kg	278.0%	×
	IPlant(産業)	4,425.0kg 以下	3,540.0kg	3,898.0kg	110.1%	△
	Odiv(産業)	11,375.0kg 以下	9,100.0kg	11,700.0kg	128.6%	×
	SSdiv(産業)	0.0kg 以下	0.0kg	0.0kg	100.0%	○
	Odiv(ダンボール)	16,575.0kg 以下	13,260.0kg	8,250.0kg	62.2%	○
	HHdiv(有価)	-	792.0kg	1,382.6kg	174.6%	-
	IPlant(有価)	-	639.0kg	72.0kg	11.3%	-
	Odiv(有価)	-	8,700.0kg	1,760.0kg	20.2%	-
	SSdiv(有価)	-	0.0kg	0.0kg	100.0%	-
	SZE(有価)	-	25,185 円	14,880 円	59.1%	-

③ 電力使用量と CO₂ 削減成果(スーパークールビズ活動/ウォームビズ活動、2007 年比)

部門	HHdiv	IPlant	Odiv	SSdiv	国内計	SZE	全社計
削減電力量(KWH)	92,268	68,772	56,522	12,604	230,166	10,832	240,998
削減経費(円) *1	2,295,244	1,710,747	1,406,035	313,534	5,725,560	269,454	5,995,014
削減 CO ₂ (Kg) *2	41,982	31,291	25,718	5,735	104,726	4,929	109,654

*1: 平均電気料金は、24.9 円/KWH、

*2: CO₂ 排出係数は、0.455kg-CO₂/kWh

④ 前年(2018 年)比、電気使用量の削減成果 = 天候依存傾向が強いが、昨年と平均値では差はなし

部門	HHdiv	IPlant	Odiv	SSdiv	SZE	全社計
2018 年電気使用量(KWH)	159,411	76,819	106,923	40,386	17,385	400,924
2019 年電気使用量(KWH)	158,252	74,619	108,171	40,098	12,759	393,899
前期比抑制電気使用量(KWH)	1,159	2,200	-1,248	288	4,626	7,025
前期比電気使用量抑制率(%)	0.7	2.9	-1.2	0.7	26.6	1.8

⑤ 前年(2018 年)比、電気料金の削減成果 = 昨年と同程度

部門	HHdiv	IPlant	Odiv	SSdiv	国内計
2018 年電気料金(円)	3,879,297	1,967,083	2,783,847	932,418	9,562,645
2019 年電気料金(円)	3,875,161	1,871,571	2,842,307	892,104	9,481,143
電気料金抑制金額(円)	4,136	95,512	-58,460	40,314	81,502
電気料金抑制率(%)	0.1	4.9	-2.1	4.3	0.9

⑥ 3R活動の成果

部門	HHdiv	IPlant	Odiv	SSdiv	全社計
全体排出量(kg)	6,439	4,150	7,730	277	18,596
有価物分別量(kg)	1382.6	72	880	0	2,335
有価物割合(%)	21.5	1.7	11.4	0.0	12.6
有償換金(円)	273,908	3,375	83,869	0	361,152

⑦ エコキャップ収集活動の成果

部門	HHdiv	IPlant	Odiv	全社計
収集量(Kg)	9.90	6.90	7.20	24.00
収集量(個数)	4,249	2,961	3,090	10,300
ワクチン(人分)	4.9	3.4	3.6	12.0
削減 CO ₂ (Kg)	31	22	23	76

6) 外部審査と内部監査の結果

審査、監査の区別	外部審査	内部監査					
		HHdiv	IPlant	Odiv	SSdiv	SZE	SONY-GP
対象部門	国内4部門						
監査期日	2020.02	2019.10	2019.12	2019.11	2020.01	2019.10	2020.02
監査結果(不適合/要観察)	0件/0件	0件/0件	0件/0件	0件/0件	0件/0件	0件/0件	0件/1件
改善機会コメント/Good point)	10件/4件	0件/0件	1件/0件	3件/1件	1件/0件	0件/0件	2件/0件

7) 2020年度の主な取り組み事項、テーマ

- a. 2020年度のEMS、環境活動は、運用管理の軽量化及びスマート、自然体での推進に注力いたします。
- b. 賛同した“COOL CHOICE”や各種エコ活動を推進します。(Sクールビズ活動、ウォームビズ活動の定常的推進)
- c. 本社八王子地区における“モデル工場化”活動を継続し、より具体的な目標と施策、到達点を明確にした活動を行い、その成果を他事業所に有効展開を図り環境品質パフォーマンス向上に努めます。
- d. 資源枯渇に着眼し、滞留資産の発生抑制と生産財の無駄な廃棄の監視・改善活動を継続推進します。
- e. 環境管理費用の管理方法の調査、情報収集及び低減活動を継続的に推進します。